

令和元年度第3回奈良県環境審議会 環境影響評価審査部会
会議録

1. 開催日時 : 令和元年 10 月 24 日 (木) 10:00~11:00
2. 開催場所 : 奈良県文化会館 集会室 AB
3. 出席者
 - 環境影響評価審査部会委員 : 6 名
藤井部会長、魚島委員、高田委員、成瀬委員、前田委員、山田委員
 - 事務局他 : 6 名
(奈良県くらし創造部景観・環境局 環境政策課、廃棄物対策課)
4. 傍聴者等 : 4 名
5. 議題 : 山辺・県北西部広域環境衛生組合新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価準備書
に対する意見について
6. 配付資料
 - 資料 1 審査部会における意見概要、事業者の見解及び部会報告(案)
 - 資料 2 部会報告(案)
 - 資料 3 山辺・県北西部広域環境衛生組合新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価
準備書 (既送付)
 - 参考資料 1 環境審議会資料 (環境影響評価制度及び事業概要等について)
 - 参考資料 2 環境審議会資料 (環境影響評価準備書の概要)
7. 議事概要 : 事務局より、委員からの意見に対する見解、環境審議会の説明資料、部会報告
案の説明を行い、審議が行われた。主な質疑については以下のとおり。

藤井部会長：ただいま、事務局より説明があった内容について、説明内容や説明の仕方について、ご意見があればいただきたいと思います。

山田委員：前回も申し上げましたけれども、このアセスは、肝心の焼却の方法がはっきりしていない段階で、評価をしています。この位置に施設を設けるといふところまでは決まっているのですが、そこにどういう方式で、どういう焼却炉が設けられるのか、というのが具体的でないのですよね。レイアウトも示されていない。かなり多くの部分について、過去の同種の施設ではこうなっているのだから大丈夫です、ということできています。ですから、この段階で評価をしたいということではやっていますので仕方ないのですが、意見としては、出来れば具体的な設計がなされた段階でもう一度確認する、というようなことが必要ではないかと思うのですがいかがでしょうか。

事務局：委員お述べのことはそうだと思います。今のところ、焼却方式もストーカ式、もしくは流動床式、というように決まっています、煙突の高さは59m、というところまで決まっておりますが、具体的なレイアウトとか、その辺りは未定というか、まだ分かっていない状況でございますので、委員ご指摘の、設計がなされた段階で、の文言についてどういうものが良いのか、検討させていただきます。委員ご確認のうえ、部会長にもご確認いただいて、全委員にお示しさせていただきますたいと思います。

藤井部会長：他にございますでしょうか。

前田委員：部会報告(案)の4のその他、なんですけれども、「沿道の交通安全対策等」は何にかかるといふと、交通安全対策等への影響をできる限り低減すること、となって何か文がおかしいのではないかと。「周辺道路及び生活環境への影響をできる限り低減すること」といふのは良いけど、この「対策等」は何にかかるといふのか。「対策等への影響」となるとよく分からないけど、何でしょう。

事務局：少し言葉足らずだったかも知れませんが。沿道の交通安全対策「を行う」が抜けているかと。「対策を行うなど」とします。

前田委員：「沿道の交通安全対策を行うなど、周辺道路及び生活環境への影響」となる。これが「影響」と繋がるから、何か間に動詞を入れて切る方が分かりやすいのでは。

事務局 : 委員のご主旨を踏まえて、修文させていただきたいと思います。委員ご確認のうえ、部会長にも確認していただいて、提示させていただきたいと思います。

藤井部会長 : 参考資料 2 の 18 ページの所、上層逆転時とか、接地逆転層とか、環境審議会で説明される時に、どういう図なのか、パッと見たときにはそのまま行ってしまいかも知れませんが、そこを簡単に説明された方が良いかと思います。(接地逆転層崩壊時の図の) 高度と気温の所をパッと見ると、知らない人だと何か塀みたいに見えてしまうかも。

事務局 : 部会長からご意見いただきまして、この辺りは非常にマニアックな所でもございますので、なるべく、分かりやすい表現で説明させていただきたいと思います。

藤井部会長 : 他に何かございますか。

高田委員 : 単純な確認ですけれども、参考資料 2 の最後の 113 ページ、114 ページの辺りは、これはあくまで準備書に書かれた事後調査がこの内容で書かれている、という説明と理解してよろしいですよ。これを受けて、今回の資料 2 にある意見書を出す、ということですよ。ですから、審議会の委員の方に、それがちゃんと分かるように説明していただいた方が良いのではないかと思います。あくまで確認ということですが。我々は何回もやっているの理解出来ますが、初めて聞かれた方が、準備書と意見書がうまくかみ合うような説明をしていただいた方が分かりやすいかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

事務局 : その通りだと思いますので、環境審議会の際には、分かりやすい表現で、時間は多少かかるかも知れませんが、丁寧な説明をさせていただきたいと思っております。

藤井部会長 : 多分出ないとは思いますが、参考資料 2 の 68 ページの水質の予測結果の所ですけれども、今台風とかでかなり大雨も降って、水害も発生しているので、委員の方も興味関心がある。1 時間に 58mm の雨量強度で大丈夫なのか、もっと降ったらどうなるのか、という質問ももしかしたら出るかも知れませんが、その辺りは何か対応していただければと思います。

山田委員 : あそのレベルは結構高かったのですかね。標高は高い？

事務局 : 市街地に比べて高い位置にはございます。それも踏まえて、この辺りについて

も説明を追加というか、ちょっと丁寧に、その辺りを踏まえて口頭で説明させていただきます。

高田委員：今の意見に関連してですけれども、絶対的な標高が重要なのではなくて、川からの高さが重要ですね。ですから口頭だと分かりにくいので、可能でしたら簡単な見取り図みたいなものがあると分かりやすいのではないかと思います。ご検討いただければ。

山田委員：リサイクル施設はちょっと低い所にあったのでは。

事務局：断面図を用いて、川との位置関係を分かるように工夫させていただきます。

山田委員：そういうのは環境影響とは違うのですか。

藤井部会長：川の問題とも言えますが、焼却施設に雨が大量に降って、その水が川に流れるのはどう影響があるか、というのが。

藤井部会長：他にお気づきの点ございますでしょうか。それでは、部会報告(案)については山田委員からご意見いただいた部分と、前田委員からご意見いただいた部分を含め、文言修正等出てくるかと思いますが、その辺りは各員見ていただくのと、私を含めて修正させていただくこととしてよろしいでしょうか。ありがとうございました、今回の部会はこれで終了させていただきます。